

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第20週の発生動向

□ 全数報告の感染症（20週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：急性脳炎 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、百日咳 3 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	無症状病原体保有者	—
			60歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70歳代	男	肺結核	—
		日向	80歳代	男	肺結核	—
5類	急性脳炎	延岡	0～4歳	女	病原体不明	発熱、痙攣、意識障害
	侵襲性肺炎球菌感染症	延岡	80歳代	男	—	発熱、菌血症、下肢痛、体動困難
	百日咳	日向	5～9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		中央	0～4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 232 人(定点当たり 6.4)で、前週比 152%と増加した(祝祭日の休診含む)。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

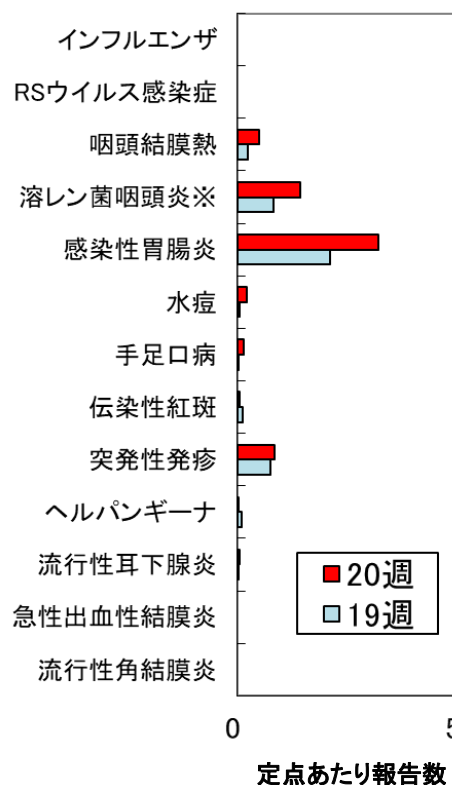
報告数は 51 人(1.4)で、前週比 171%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.9)の約 0.5 倍であった。日南(3.3)、宮崎市(2.3)、中央(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 3～5 歳が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 115 人(3.2)で、前週比 151%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.5)の約 0.3 倍であった。小林(5.3)、都城、高鍋(5.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 6 ヶ月～5 歳が全体の約 6 割を占めた。

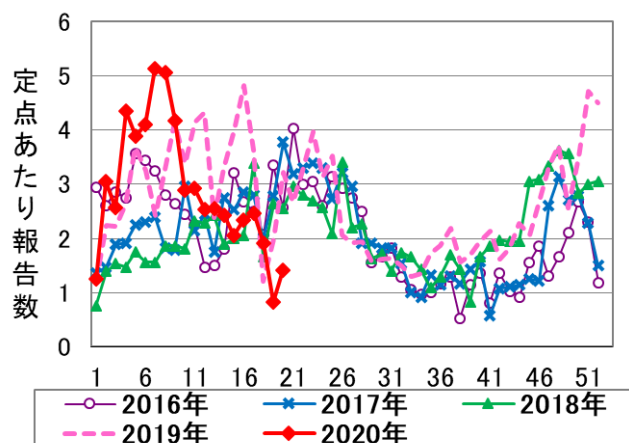
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

《前週との比較》

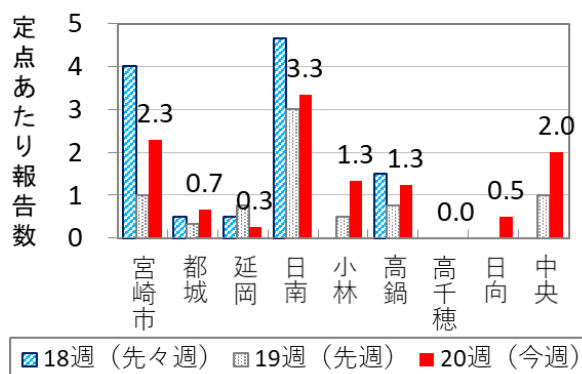


※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

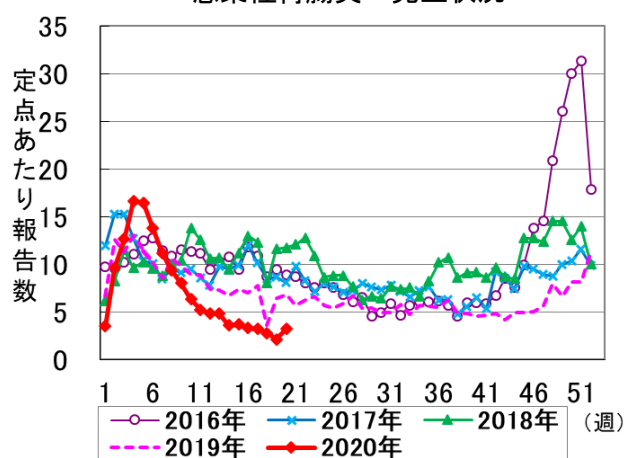
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



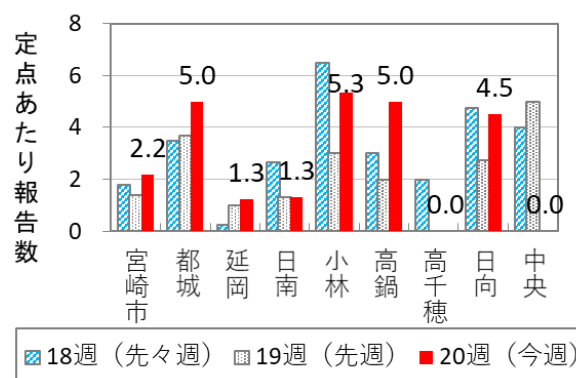
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告無し。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(3.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊
・水痘(2)

🇯🇵 全国 2020 年第 19 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 19 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	124 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1 例	パラチフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例	つつが虫病	1 例
	日本紅斑熱	5 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	12 例
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	3 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	11 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	21 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	11 例
	風しん	1 例				
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	507 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 68%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 1,178 人(0.4)で前週比 58%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)の約 0.2 倍であった。鳥取県(1.7)、岩手県、長崎県(1.0)からの報告が多く、年齢群別では 3～5 歳が全体の約 3 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 2,312 人(0.7)で前週比 71%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.7)の約 0.1 倍であった。鹿児島県(2.2)、宮崎県(2.1)、大分県(1.8)からの報告が多く、年齢群別では 1～4 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2020年4月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は46人(3.5)で、前月比135%と増加した。また、昨年4月(2.5)の144%であった。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数25人(1.9)で、前月と同率、昨年4月の約1.3倍であった。

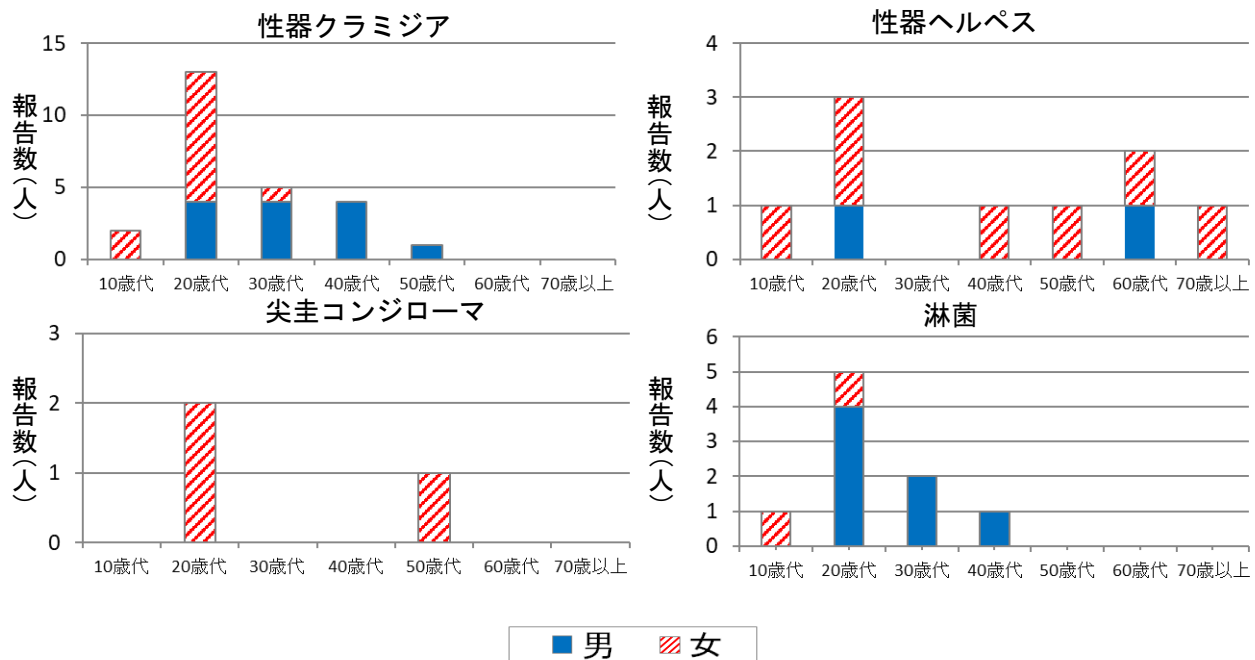
20歳代が全体の約半数を占めた。(男性13人・女性12人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数9人(0.69)で、前月の約2.3倍、昨年4月の1.5倍であった。

(男性2人・女性7人)

○尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月及び昨年4月の3倍であった。(女性3人)

○淋菌感染症：報告数9人(0.69)で前月の約2.3倍、昨年4月の1.5倍であった。(男性7人、女性2人)



【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は3,945人(4.0)で、前月比93%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,195人(2.2)で前月比91%、性器ヘルペスウイルス感染症741人(0.76)で前月比100%、尖圭コンジローマ423人(0.43)で前月比86%、淋菌感染症586人(0.60)で前月比98%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は11人(1.6)で、前月と同率であった。また、昨年4月(2.3)の69%であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数11人(1.6)で、前月と同率、昨年4月の約0.7倍であった。いずれも60歳代以上であった。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,191人(2.5)で、前月比88%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,119人(2.3)で前月比92%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症66人(0.14)で前月比58%、薬剤耐性緑膿菌感染症6人(0.01)で前月比33%であった。

疾病名		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	8	18	4	3	2	4		5			
	定点当り	0.23	0.50	0.40	0.50	0.50	1.33	0.00	1.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	29	51	23	4	1	10	4	5		2	2
	定点当り	0.83	1.42	2.30	0.67	0.25	3.33	1.33	1.25	0.00	0.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	74	115	22	30	5	4	16	20		18	
	定点当り	2.11	3.19	2.20	5.00	1.25	1.33	5.33	5.00	0.00	4.50	0.00
水 痘	報告数	2	8		4	1						3
	定点当り	0.06	0.22	0.00	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00
手足口病	報告数	1	5	3			1				1	
	定点当り	0.03	0.14	0.30	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	4	2			1		1				
	定点当り	0.11	0.06	0.00	0.00	0.25	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	26	30	8	4	5	9	1	2		1	
	定点当り	0.74	0.83	0.80	0.67	1.25	3.00	0.33	0.50	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	1			1						
	定点当り	0.09	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2			1						1
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点：59、小児科定点：36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点：6、基幹定点：7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～20週)

2類感染症	結核	64例(4)	
	腸管出血性大腸菌感染症	3例	
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群 2例
	日本紅斑熱	1例	レジオネラ症 4例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎 1例
	急性脳炎	1例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症 8例(1)
	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症 1例
	百日咳	37例(3)	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	17例	

()内は今週届出分、再掲